

これまでの芦屋 これからの芦屋 ～芦屋市の次期地域福祉計画に向けて～

こんにちは。私は、関西学院大学4回生の和気 輔(わき・たすく)です。今回ご縁があり、市民会議のレポーターを務めることになりました。毎回の会議のホットな内容を、できるだけ早くニュースレターにしてみなさんにお伝えします。どうぞよろしくお願い致します。

さて、2010年7月10日、芦屋市役所分庁舎2階大会議室にて1回目となる市民会議が行われました。この会議は「芦屋市地域福祉計画」を、市民のみなさん自身の生活に、より密着した、住民主体の計画にするために実施していきます。

第1回市民会議は、オリエンテーションの後、互いに自己紹介をしてこれから会議をご一緒するみなさんと知り合いました。その後、そもそも地域福祉計画とは何かについて解説を受け、また過去3年間の実践をふりかえりました。会議を進行するファシリテーター役は、大阪ボランティア協会の岡村さんが担当しました。

① 計画に参加することの意味



話し合いに先立ち、関西学院大学の牧里教授より地域福祉計画への市民参加の意味というテーマで、お話をして頂きました。「地域福祉計画は、策定が義務付けられているわけではなく予算も無い。これは、積極的に言えば、『みなさんの知恵や経験を結集して、自分たちの街を良くする計画を自主的に作ってください』ということ。街の文化や財産など、あらゆるものを導入し、やる気をぶつけて頂きたい」と委員のみなさんへエールが送られました。

② オリエンテーション・自己紹介



有意義な対話の場にするために、4つのルールをみなさんで確認しました。「①芦屋の地域福祉を、とことん考える半年に!」「②“思い込み”は捨てよう!」「③あなたも、私も大切に!」「④つながろう!」。これからの約束ごとですね。

自己紹介では5つのグループに分かれ、日頃の関心事や芦屋の街の好きなところを話し合いました。

【この会議に期待すること】との問いに対しては、「情報や刺激がほしい」「福祉に対する理解が市民にひろがること」「別の角度から福祉を見たい」など様々な期待・動機を分かち合い、笑いの中にも多様な視点が示されていました。市民会議については、当初3回とご案内していましたが、もっと議論が必要ではとのことで、自主ゼミを2回追加することになりました。

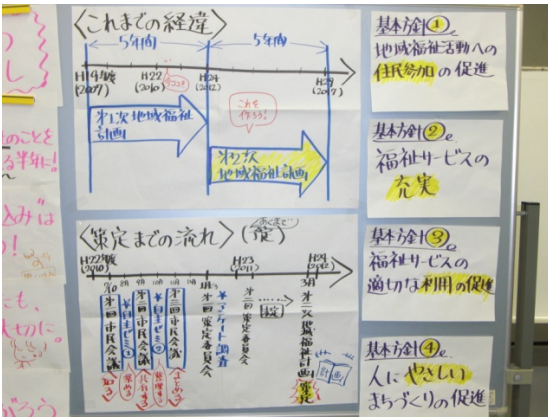


③ 地域福祉計画について



そもそも芦屋市の地域福祉計画とは何か、どのように進められるのか、といった概要について、芦屋市職員の方から説明がありました。「みなさんの参加によってなされる市民会議、また広範囲なアンケート調査等を実施し、策定委員会で原案をつくり、審議会への諮問、答申なども行って推進本部で決定する」という計画策定の流れです。ちょっとヤヤコシかった(?)ので、併せて図でも説明がありました。

④ これまでの3年間の地域福祉計画のふりかえり



このようにして作られた計画に基づいて、現在どのような取り組みが行われているのかについてふりかえりました。地域福祉計画の4つの基本方針別に各グループで話し合い、質問や意見を全体で共有します。初めは、「書いてある計画が多すぎる。また、難しすぎる」「計画を列挙するだけでなく、順位をつけるべきではないか」「このようなことが行われていたことなど知りもしなかった。もっと地域住民に対し、知らせる努力をすべきでは？」といった厳しい意見も多かったですが、「うちの団体は、△△な取り組みを行っています」「こういう情報は、〇〇に問い合わせればいいよ」と地域情報が交換される場面も。

最後は、専門委員の佐瀬先生、孫先生からコメントをいただきました。みなさんのメモをとる姿、うなずく姿に、芦屋市のことを真剣に考えておられる情熱を感じさせられる一日でした。

★次回は…、

自主ゼミ：8月28日(土)午後1時30分～

テーマは「もっと深める芦屋のこと！ 何ができたのか、課題は何か？」です！

<今後の予定>

- | | | |
|----------|-----------|-------------|
| ・自主ゼミ① | 8月28日(土) | 午後1時30分から5時 |
| ・第2回市民会議 | 9月10日(金) | 午後1時30分から5時 |
| ・自主ゼミ② | 10月23日(土) | 午後1時30分から5時 |
| ・第3回市民会議 | 12月13日(月) | 午後1時30分から5時 |



★ 次回も、委員のみなさまの熱い思いをお聞かせください。たくさんのご参加をお待ちしております。また、地域福祉計画や市民会議への市民のみなさまのご意見等を、事務局までお寄せください。